

開催日時：2002年8月8日（木） 13:30～16:50

場所：ホテルニューオウミ 2階

参加人数：委員11名、河川管理者13名、一般傍聴者79名

1 決定事項

今後の部会スケジュールについて

- ・ 第18回部会を10/3(木)、第19回部会を11/9(土)、第20回部会を12/14(土)に開催する。

部会の論点別検討班（WG）について

- ・ 一般意見聴取・反映を考える検討班のメンバーは、三田村委員、嘉田委員、村上委員、仁連委員の4名とする。
- ・ 最終提言に向けて文章を調整、推敲する検討班を設置する。メンバーは2名程度とし、1名は中村委員、もう1名は中村委員の指名により決定する。
- ・ その他の検討班設置に関して、水質については中村委員と宗宮委員で必要性を検討する。生態系の回復機能に関しては、西野委員を中心に、小林委員、倉田委員、村上委員で協力して既存の情報を収集する。

委員会のWGについて

- ・ 委員会WGメンバーへの部会委員の推薦は資料5-1のとおり了承された。
- ・ ダムWGに対し、ダムが下流の琵琶湖に与える影響についても検討していただくよう要請する。

一般意見聴取および現地調査について

- ・ 一般意見聴取については検討班が、現地調査については提案者が主体となって計画し実施する。なお、中間とりまとめに対して寄せられた意見への対応についても検討班にて検討する。

2 審議の概要

第13回委員会の報告

資料1-3「今後の流域委員会の進め方について」をもとに説明が行われた。

委員会ワーキンググループ(WG)についての情報共有

- ・ 水需要管理WG：寺川委員および河川管理者より説明が行われ、意見交換が行われた。
- ・ 水位管理WG：西野委員より説明が行われ、意見交換が行われた後、河川管理者より資料2-2「水位管理WG報告概要」を用いてWGで報告された琵琶湖の水位に関する各シミュレーションの結果等の説明が行われた。

中村委員からの情報提供

資料3「北湖湖内環境の変化をめぐる最近の知見から人為水文システムをどう考えるか」を用いて、琵琶湖の湖底の変化をはじめとした説明が行われ、意見交換が行われた。

河川整備計画原案作成にあたっての河川管理者からの情報提供と意見交換

資料4「琵琶湖周辺の治水対策の現状」を用いて、琵琶湖総合開発などの治水対策の歴史的経緯、洗堰操作の現状等についての説明が行われ、意見交換が行われた。

一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者2名から、西の湖の問題点と対策及びヨシ帯造成事業に関する発言があった。

今後の琵琶湖部会の進め方について

資料5-1「今後の琵琶湖部会の進め方について」をもとに、WG、一般意見聴取反映の試行、現地視察等についての案が示され、「1. 決定事項」の通り決定された。

このお知らせは委員の皆様にご覧の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」、詳細については「議事録」を参照下さい。